

染め物職人の智慧



長野県諏訪の伊藤福衛さんは、長野県知事から卓越技能賞の表彰を受けた染め物職人。

若い時から、植物染料や化学染料についてはたくさんの経験を積んできました。ハーティハートヘナの製造にはそんな福衛さんの経験が活かされています。

加工方法の工夫で染まりが良くなった

ヘナについては、できるだけ茎の混入が少ないものが染まりが良くなります。特に藍については最初に取り寄せたものは、染まりがとても悪かった。そこで、加工方法についてアドバイスをしたところ、それ以後染まりが良くなりました。

原料が到着する度に、染めのテストを行って品質のチェックをしてブレンド加工しています。



妻のために・・・

ある日、福衛さんの奥さんが、市販の化学染料の白髪染めを使って髪を染めました。ところが、その日の夜になって、奥さんの目を激痛が襲いました。あわてて病院に連れていきました。おかげで大事には至らずにすみましたが、化学染料の毛染めには怖さを感じました。

ヘナですが、色は赤っぽいオレンジ色。植物だけで黒色にできないかと、ビンロウジや五倍子、タカサブロウなどありとあらゆる植物を試してみますが、髪に染まるものは、ヘナと藍しかありませんでした。

このヘナと藍にオウバクを組み合わせることで、安心して黒っぽい色に染められるようにしました。



安心と心地よさ
そして健やかな地肌と髪
地球にもやさしいから
少し手間をかけても
ヘナを使っていきたい

株式会社イノチ

〒193-0833

東京都八王子市めじろ台4-12-5

TEL042-665-4312 FAX042-666-4622

<http://www.inochi.co.jp/>

HEARTY HEART



植物100%で
安心
厳選した原料で
染まりが良い

ハーティハート
染粉 ヘナ

植物100% 安心して染まりがいい

ハーティハート染粉ヘナ 全5色



ナチュラル ライトブラウン ブラウン ダークブラウン グレー



¥1260 ¥1418 ¥1575 ¥1733 ¥1890

(税込み価格)

キメ細かく、水に溶いた時に滑らかでねっとりしていて、髪にしっかりからんでくれます。使いやすく、染まりも良いのが特徴。もちろん植物100%ですので、安心してお使いいただけます。

ヘナとインド藍とオウバクの組み合わせで、5色のバリエーションをご用意しています。

ナチュラルはヘナが、グレーはインド藍の配合量が多くなります。ヘナと比べるとインド藍の方が染まる力は弱いので、ダークブラウンやグレーは髪質によっては染まりが弱い場合があります。そんな時には、重ね染めをしていただくのがオススメです。特にグレーは紫色に発色する場合がありますので、初めての時にはあらかじめナチュラルもご用意いただくのがオススメです。

品質の良さは多くの皆様に 認めていただけてきました

ヘナ



葉に含まれるローソニアという成分は髪のタンパク質と結びつくと赤っぽいオレンジ色に発色する性質を持っています。同時に髪にツヤとハリ、コシをもたらします。インド伝承の叡智アーユルヴェーダで古くから活用されてきた植物で、髪を染める以外のすばらしい働きもあります。

インド藍



豆科の植物。インディゴという藍色の色素を含みます。ヘナと並んで髪を染めることのできるきわめて希な植物です。ヘナ以上に染まり具合に品質の違いが影響します。藍にもすばらしい働きがあります。

オウバク



ミカン科の高木キハダの樹皮。古来から日本で活用されてきた和漢植物。鮮やかな黄色と強い苦みを持つのが特徴。伊藤福衛さんならではの配合です。

ヘナと藍については特に、原料が届いた段階で、粉の状態と、テスト染めをしての染まり具合などの確認をしっかりとしてからブレンド加工しています。しっかりした品質は、経験に基づく確かな目が生み出しています。

★ヘナをはじめとお使いになれる方は、念のためパッチテストを行ってからお使いいただくことをお薦めします。

やってみれば意外と簡単

①まず髪をシャンプーで洗ってタオルで軽く水分をふき取っておきます。リンスや整髪料はつけないで下さい。(シャンプーしない場合は適度に水でぬらします。)

②ヘナにお湯(80℃以上)を少しづつ加えて練る。固さはマヨネーズより柔らかいくらい。量はショートで30g位。



③ヘナが冷めたら髪の毛にしっかりとつけます。手袋をして揉みこむようにすると良いです。根元は特に入念に。服は汚れてもいいものか、ケープ等でガードします。



④サランラップやタオルで髪を覆って45分～1時間おいてください。ダークブラウングレーは長めの方が良いです。ダークブラウンやグレーはラップではなくタオルをオススメします。



⑤ヘナをお湯で洗い流します。(シャンプーは使わない方が良い) グレーやダークブラウンは一日くらいたつと色が濃くなります。



染め方の詳しい解説は商品に添付されている取り扱い説明書を参考にしてください。



黒やしっかりしたこげ茶は重ね染めで

黒色を出したい場合には、ナチュラルとグレーを使った重ね染めがオススメ。

基本は:
グレー → (一日以上おいて)
ナチュラル→グレー。
(初日に、ナチュラル→グレー、翌日以降グレーでも大丈夫です)

ナチュラル→グレーで終わるとしっかりしたこげ茶になります。

詳しくは取扱説明書を参考にしてください。



ナチュラル→グレー

グレー→
ナチュラル→
グレー